

# 2色切り替えバックランプ T16 LEDバルブ

## 取扱説明書

### はじめに

この度は、弊社の商品をご購入いただきありがとうございます。  
正しく安全にご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読み  
になり、内容をご理解いただいた上でご使用ください。  
誤ったご使用による事故、破損、損害、ケガ、火事などの責任は  
一切負いかねますことをご了承ください。

### <<必ずお読みください>>

- 取り付けの際は必ず専門業者様にて取り付けの可否をご確認の上、取り  
付け作業を行ってください。車種によってはバルブ形状は合致してい  
ても、挿入口のサイズ不足、スペースの不足、レンズ内の距離等により装  
着不可となる場合があります。
- 挿入口のサイズによっては、挿入する際にきつく入れづらい場合があり  
ます。その場合は、ゴム部分に滑りをよくするためのグリスなどを塗布  
し挿入して固定してください。
- 挿入口のサイズによっては、固定が緩く水分が侵入してしまう恐れがあ  
ります。その場合は、シーリング材などを使用し、防水処理を行って  
ください。
- 車両により、接続先配線がバルブ近くに無い可能性があります。  
その場合は車内から電源を引き回すなどが必要になる場合があります。

# 免責事項

- カメラ/ミリ波/紫外線/超音波などを使用した、アダプティブルクルーズコントロールなどの自動運転機能、可変配光システムなどの先進安全機能やドライバー運転支援技術(オートハイビーム・自動ブレーキ・前方衝突警告・衝突軽減システム・誤発進抑制制御システム・車線逸脱防止システム・駐車支援システム・クリアランスソナーなど)は、純正バルブの使用を前提に、設定や調整がなされているため、本製品を装着することにより、正常に作動しない恐れがあります。  
当該機能の誤作動や不作動及び、それにより生じた事故や、損害破損、ケガ、火事などについては、直接的、間接的を問わず一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品の取り付けや点灯チェックなどの最中に発生した、直接的、間接的に生じた事故、損害、破損、ケガ、火事などについて責任は弊社では負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品を使用したことによる直接的、間接的に生じた事故、損害、破損、ケガ、火事などについての責任は弊社では、負いかねますので予めご了承ください。
- 本製品の不具合により発生した、事故や、損害、破損、ケガ、火事などについては、直接的、間接的を問わず一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 取り付けに際し自動アシスト、ブレーキサポートなどの安全・快適装備機能の誤作動が出る場合があります。
- 車両によりテールランプが光らないなどが発生する可能性があります。その場合は、整流ダイオードを使用してください。



# 車検について

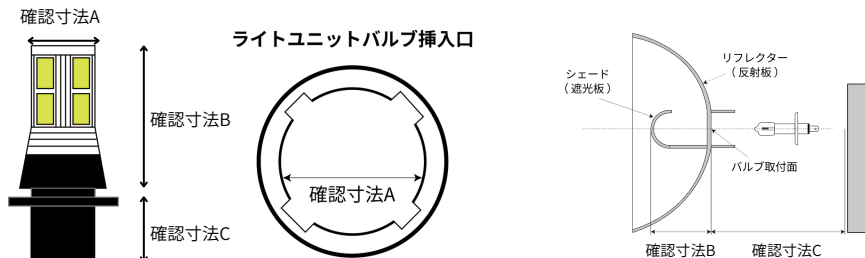
- 本製品は保安基準である『発光色』『視認性』の性能評価を条件で満たしておりますが、下記の場合は保安基準不適合として判断され、車検に通らない場合があります。また、純正バルブとは異なった光に見えることや車種、電圧などが要因で、必ずしも車検に通るとは限りません。  
その際は元のバルブに交換するかレンズの点検を行ってください。
  - ・競技用として販売している商品
  - ・競技用として販売しているレンズ
  - ・測定器の備えが無く、検査官の目視による判断を行っている場合
  - ・経年劣化による灯具の損傷や、レンズの汚損がある場合
  - ・新光源対応テスター※を使用していない場合
- ※従来型テスターでは、LEDの発する光を正しく感知できずに、光度不足と計測される場合があります。  
新光源対応テスターではない場合、目視検査モードでの測定を行うことをおすすめします。
- 装着箇所及び使用用途により、車検に適合しない場合があります。  
保安基準などの自動車関連法規を遵守してご使用ください。
- 自動車に備える※制動灯(ブレーキ)の数は2個であることと保安基準に定められております。本商品を取り付け制動灯(ブレーキ)を連動させた場合は車検非対応となります。  
※ハイマウントストップランプは補助制動灯としてカウントしますので、制動灯の数としてカウントしません。
- 本製品は保安基準に準じた設計をしておりますが、まれに検査官によっては保安基準不適合と判断される場合があります。
- 純正とは違う光り方をするため事前にお取付け業者に車検可否などご確認ください。



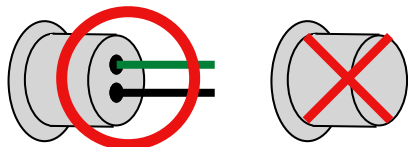
# 取り付け上のご注意

作業を行う前に取り付けスペースとバルブ寸法、車両側ソケットをご確認ください

**!** バルブ寸法より取り付けスペースが少ない場合取り付け不可となります



**!** 車両側ソケットに電源配線が2本来ていない場合は取り付け不可となります。

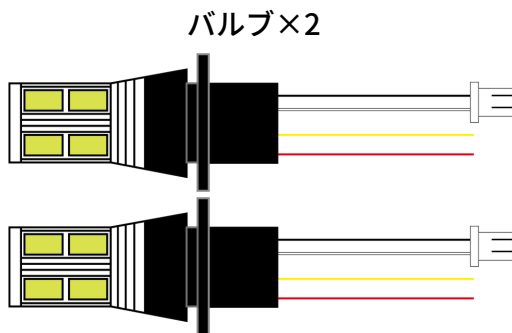


※ソケット後部から配線が出ていない、もしくは配線が1本しかない場合も取り付け不可となります

**!** 集中コネクターやバルブを取り外した状態で点灯テストやエンジンをかけたり、車両のキーを回したりしないで下さい。

※取り外した状態で点灯テスト等を行った場合、車両側エラーや車両側の故障につながる可能性があります。

## 商品内容



※各配線の長さは約40cmです

分岐タップ×4



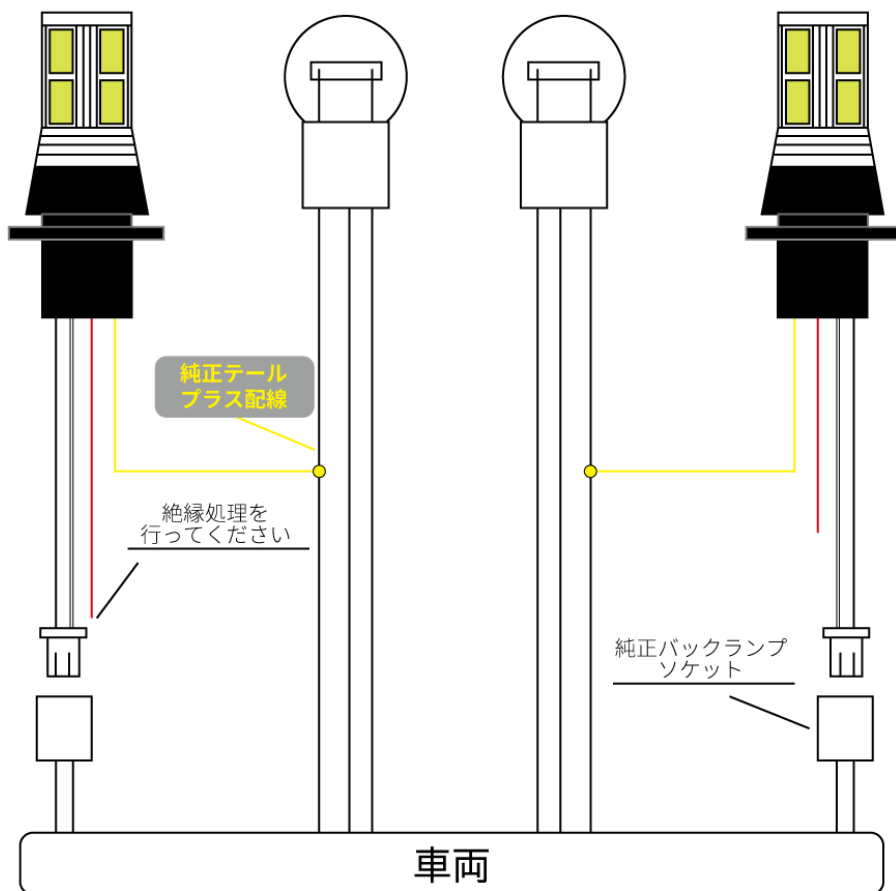
簡易説明書



Let's get Waku-Waku!  
fcl. エフシーエル

## ■テールランプのみ連動する場合

純正ブレーキ / テールランプ

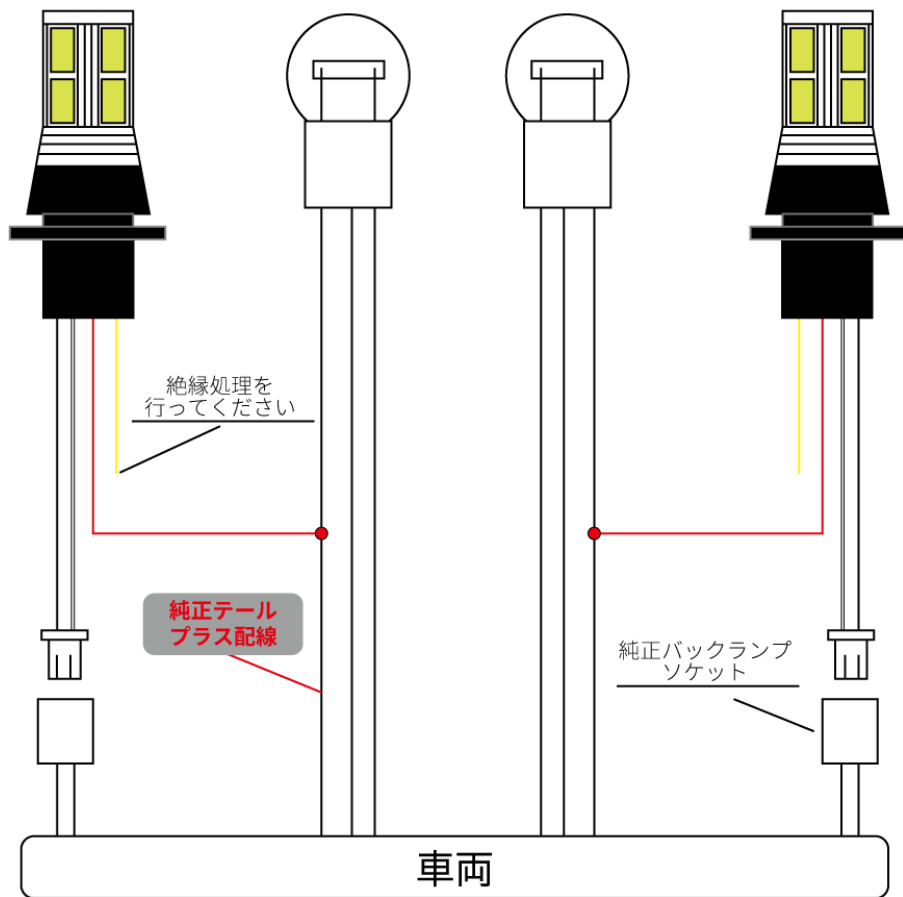


## ■明るさ

- ・ホワイート：200lm
- ・レッド：黄線をプラス配線に接続した場合 13lm  
赤線をプラス配線に接続した場合 65lm

## ■テールランプを明るくしたい場合

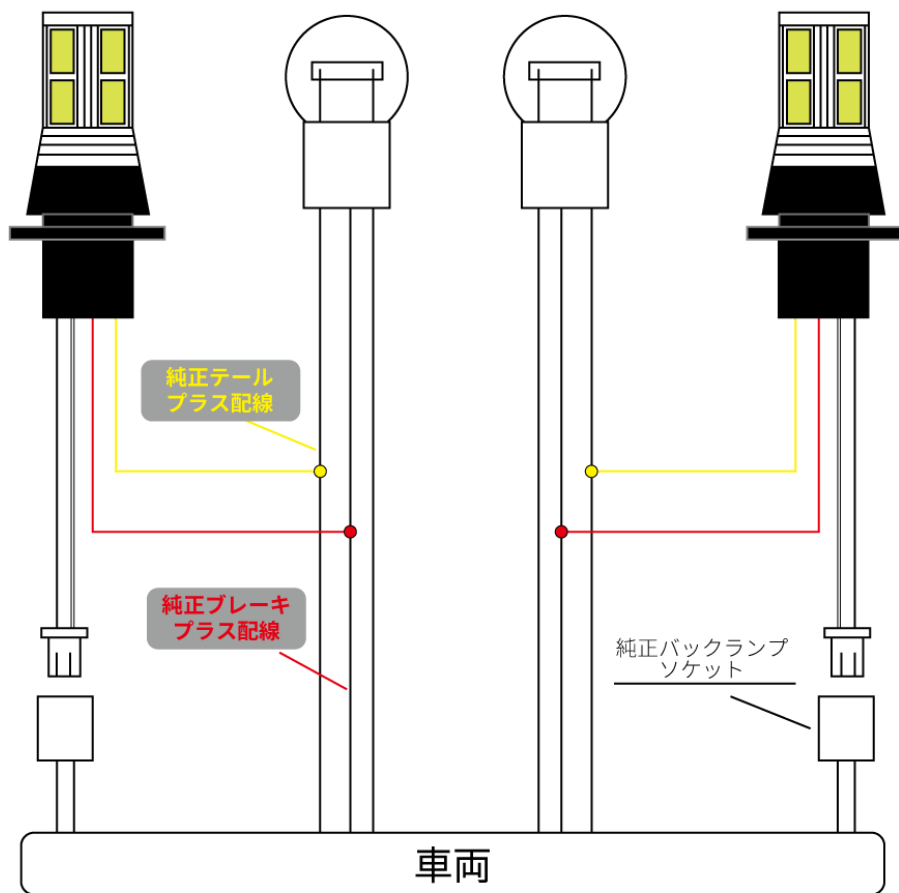
純正ブレーキ / テールランプ



※保安基準で【ブレーキランプの明るさはテールランプの5倍以上であること】と定められています。お車のブレーキランプの明るさにもよりますが、弊社では上記接続方法の場合は車検非対応としております。

## ■テールランプとブレーキランプを連動させる場合

純正ブレーキ / テールランプ



※自動車に備える※制動灯(ブレーキ)の数は2個であることと保安基準に定められております。本商品を取り付け制動灯(ブレーキ)を連動させた場合は車検非対応となります。

## ①純正バックランプバルブの取り外し

純正バックランプバルブを取り外します。

※純正バルブの取り外し方法は車両によって異なります。

車両取扱説明書や車両整備解説書などを参考に取り外しを行ってください。  
※取り外した純正バルブは何かあったときに、元に戻せるよう必ず保管してください。

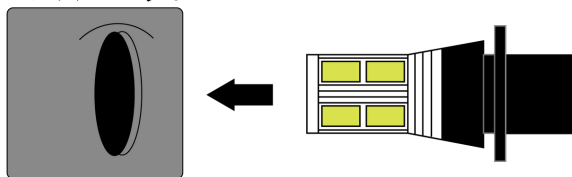
## ②LEDバルブの装着

手順1にて取り外したライトユニットバルブ挿入口に、LEDバルブを挿入し固定します。

※ライトユニットによってはバルブ挿入口が小さく固定しづらい場合があります。  
その場合は、ゴム部分に滑りをよくするためグリスなどを塗布し、滑りをよくしたうえで挿入、固定してください。

※ライトユニットによっては、固定が緩く水分が侵入してしまう恐れがあります。  
その場合はシーリング材などを使用し、防水処理を行ってください。

レンズユニット





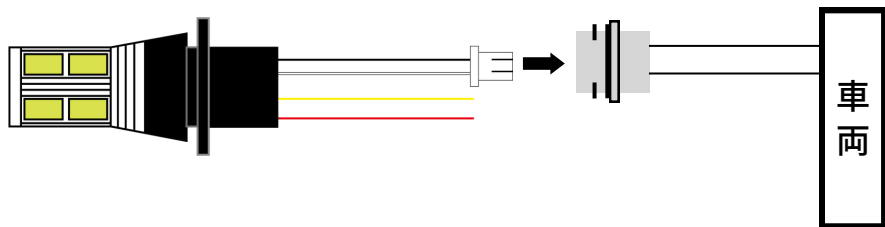
# 取り付け手順と要領

## ③LEDバルブと純正ソケットの接続

手順①にて取り外した純正ソケットにLEDバルブを差し込みます。

※本製品には極性があります。

点灯しない場合は、180°回転させ差し込んでください。



## ④純正テールランプ配線と接続

取り付け配線図を参考に各配線(赤線/黄線)を連動させるプラス配線に付属の分岐タップを使用し接続します。

※ブレーキ/テールランプのプラス配線の場所や色は、車両によって異なります。車両整備解説書や検電テスターなどを使用し確認を行ってください。

※必ずプラス配線と接続してください。間違った配線に接続すると、商品の故障や、車両の不具合などにつながる場合があります。

※車両によっては、接続先の純正配線が遠く配線が届かない場合があります。その場合は別途配線をご用意ください。

※使わない配線がある場合は、配線の絶縁処理をしてください。

※自動車に備える※制動灯(ブレーキ)の数は2個であることと保安基準に定められております。弊社では制動灯(ブレーキ)を連動させた場合は車検非対応としております。

※保安基準で【ブレーキランプの明るさはテールランプの5倍以上であること】と定められています。お車のブレーキランプの明るさにもよりますが、弊社では赤線をテールランプと接続した場合は車検非対応としております。

## ⑤最終確認

テールランプを点灯させるなどして、問題なく動作するかを確認してください。また、分岐タップへの嵌合不足による接触不良や、バルブのがたつきがないかも、確認を行ってください。問題ないことが確認できたら、配線のまとめや固定を行ってください。

なお、点灯チェックを行う場合は集中カプラーなどを外したままで行わないでください。異常と感知しエラーが発生する場合があります。



Let's get Waku-Waku!

エフシーエル

## ★全く点灯しない

電源カプラー接続の極性が間違っていないか、ヒューズが切れていないか、ライトのスイッチがONになっているかを確認してください。また、まれに端子部分の接触が悪い場合があります。その場合は端子部分を曲げるなどして接触の改善を行ってください。



ななめ横に広げる



外側へ広げる

---

## ★LEDバルブのテール(ブレーキ)ランプが点灯しない

ヒューズが切れていないか、ライトのスイッチがONになっているかを確認してください。また、きちんと車両側配線に接続できているかも確認を行ってください。

---

## ★車検対応ですか？

車検対応です。バックランプ以外の箇所への取り付けや、テール以外と連動させた場合や検査中のトラブル（点灯しないなど）により、車検に合格しない場合もあります。保安基準に準じた設計をしておりますが、稀に検査官によっては保安基準不適合と判断される場合があります。

※自動車に備える※制動灯(ブレーキ)の数は2個であることと保安基準に定められております。弊社では制動灯(ブレーキ)を連動させた場合は車検非対応としております。

※保安基準で【ブレーキランプの明るさはテールランプの5倍以上であること】と定められています。お車のブレーキランプの明るさにもよりますが、弊社では赤線をテールランプと接続した場合は車検非対応としております。

## よくある質問

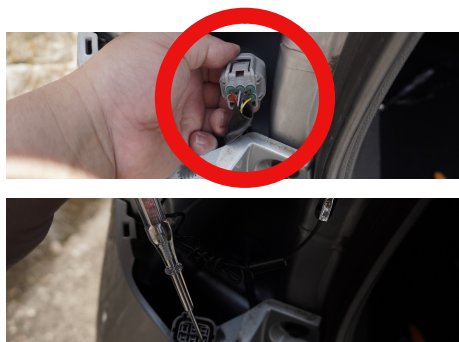
### ★バックランプ付近にテールランプ信号(プラス電源)がない

テールランプ信号(プラス電源)が近くに無い場合は、車内から引き回す必要があります。また、ブレーキランプ信号(プラス電源)がない場合はハイマウントストップランプなどから分岐してください。

---

### ★どうやってテールランプ信号(プラス電源)を探せばいいですか？

テールランプユニットやテールランプに接続されているカプラーなどから検電テスターなどを使用し、テールランプ信号(プラス電源)を探してください。



### ★防水加工は必要ですか？

車両の灯具との相性により、水分の混入などが発生する恐れがあります。必ず防水加工は行ってください。

---

### ★ハイマウントストップランプが点灯しなくなりました

車両によっては、本商品を取り付けることで回路が変わりハイマウントストップランプなどが正常に動作しなくなる場合があります。その場合は、電気の回り込みが発生しないよう、赤線や黄線に整流ダイオードを使用してください。

---